

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

マンハイム大学の施設は非常に整備されていて、とても快適でした。大学図書館は市内にもあり、自習スペースやグループワークするスペースが多く、インターネット環境も良いので便利でした。大きな食堂の他にもカフェや売店があり、敷地外にも学生割引の使えるカフェがあり、過ごしやすかったです。しかし、敷地が非常に広く、建物も多いのでどんなに頑張っても次の授業場所に間に合わない事がしばしばありました。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

留学生対象のドイツ語の授業が開講されています。レベルは初心者レベルのA1から中級・上級者レベルのB2,C1まで用意されています。授業期間中は、週に2時間の授業で1学期に15回授業があります。値段は一つの授業につき€15です。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

学生団体でタンドム制度が整備されているので、生活面でサポートが必要な場合は大学の正規学生らが助けてくれます。留学生らが各々の国について紹介するイベントや、留学生向けの遠足などのプログラムも用意されています。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

申し訳ありませんが、僕は現地でそのような奨学金は受け取らなかったの分かりません。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

悪くはないです。しかし、早朝や深夜に外を一人で出歩くことは勧めません。マンハイム中央駅前には大体いつも変質者がいました。たまに人目を気にせずにドラッグをしている人も居るので、そういう人に絡まれないように気をつけた方がいいです。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

マンハイム大学の建物はどこも非常に綺麗で、過ごしやすいです。大学宮殿はバロック建築で、ヨーロッパの中でヴェルサイユ宮殿の次に大きいとも言われているので圧巻です。また、街や大学の様々なイベントがとても多くいつも街が賑やかなので退屈しません。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位)
-------------------	---------------------

	数)
Einführung in die Politikwissenschaft (4)	
Grundlagen der Volkswirtschaftslehre (4)	
Wirtschaftsgeschichte des Nazionalsozialismus (2)	
Einführung in die Vergleichende Regierungslehre (2)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 宿舎の探し方

大学の斡旋 / 自分で探した / その他 ()

⇒自分で探した / その他の場合のその方法と良かった点・悪かった点

(3) 家賃

月額 (現地通貨) 約 €230 、(日本円) 約 2万5000 円

(4) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ()

(5) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 15~20 分

(6) 感想、良かった点・悪かった点

前に住んでいた学生がキッチン用品や家具などを置いていった場合は良いが、そうじゃない場合には自分で新たに食器類やキッチン用品などを揃える必要がある。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 €115 、(日本円) 約 1万3000 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ()、(日本円) 約 12万 円前後

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 €853 、(日本円) 約 10万 円

※ 宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

国際キャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード
現金 / その他 ()

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

滞在許可を申請するためにドイツで銀行口座を持つ必要があるため、口座を開設し、日本から送金しました。ドイツでクレジットカードを発行できるので便利でした。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

マンハイム大学が用意している寮の一部の家賃が1か月で約300ユーロ(3万5000円強)ほどなので、学習院大学から頂いた奨学金は全額寮の賃料に充てました。

5. 保険について

(1) 保険会社名

AOK

(2) 保険料

月額約€83

(3) 加入した保険の種類、内容

ドイツの保険会社が用意している留学生や長期滞在者向けの健康保険
旅行保険などを含まれていません。

(4) 感想、良かった点・悪かった点

留学生が到着する時期に大学構内で手続きができるので非常に分かりやすく、便利でした。
日本の会社が提供している海外保険では、ドイツで滞在許可の認可が下りない可能性が高い
ので注意が必要です。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物 / 船便 / SAL 便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

ハンガーや洗濯バサミ、洗濯ネットなど。これらが備え付けられていない部屋もあるので持っていると便利です。

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

特にありません。

(4) 持って行けば良かったと思う物

特にありません。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

大学に行き、放課後はボルダリングジムに行ったり、友人宅でポーカーなどをして遊んでいました。

市内にはショッピングモールもあるので、大学帰りに買い物する事もありました。

(2) 週末

近くに世界遺産の教会がある町や非常に綺麗な古城が多かったので、よく色々なところに出かけました。

また、友人らとスポーツをしたり、ゲームをしたり、旅行にも行きました。

新型コロナウイルスが流行してからは外出制限があったので、寮とスーパーを行き来する日々でした。

8. 後輩へのアドバイス等

新型コロナウイルスの影響でいつ留学に行く事が出来るか不透明ですが、語学の勉強やその国の文化を学ぶことは日本に居ても出来る事が多いと思うので焦らず準備をしっかりと欲しいと思います。留学にはトラブルが付き物なので、普段から何事にも臨機応変に対応できるようにどっしりと構えて生活していると悩みを抱えずに充実した留学生活を送れると思います。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。